

サービスチー用エルボクランプ取扱説明書

■はじめに

- ①この取扱説明書はサービスチー用エルボクランプをご使用いただくための取扱方法について記載しております。

| 品名 | 品番 |
|-------------------|-------|
| サービスチー用エルボクランプ50A | EE-50 |

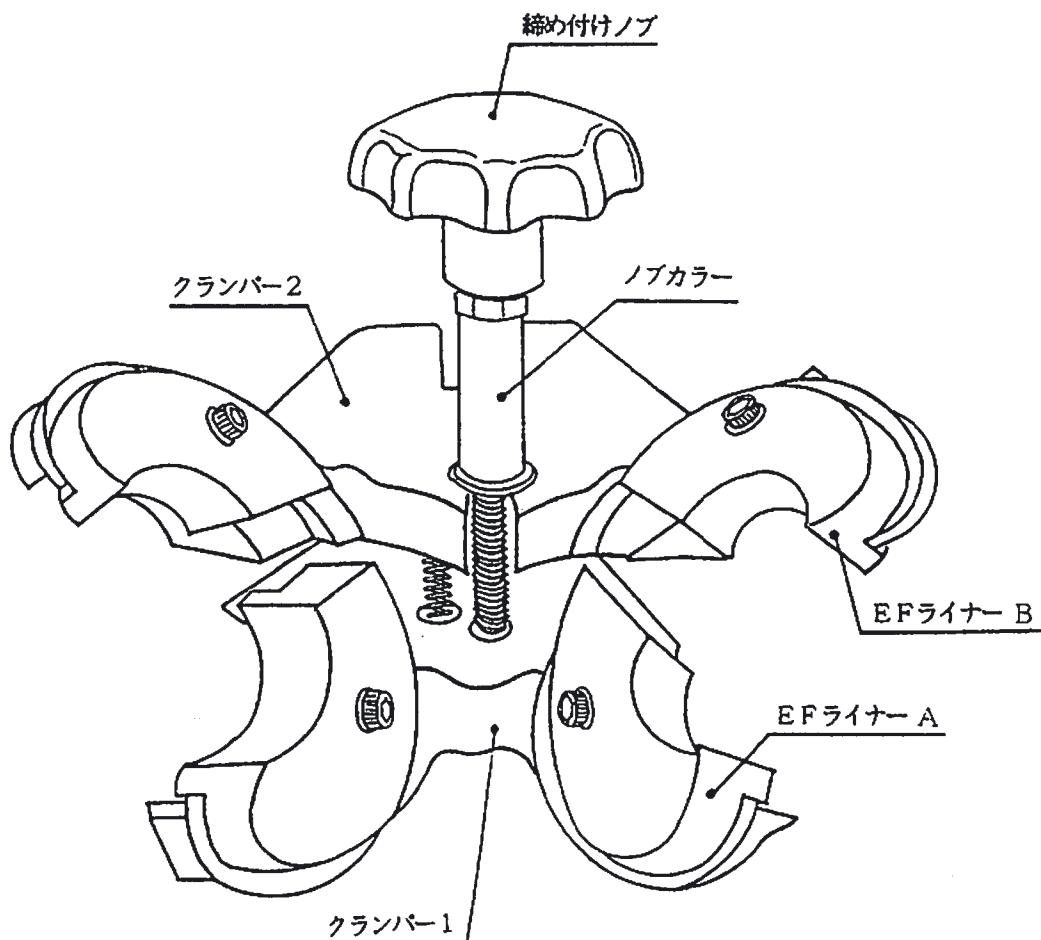
- ②この取扱説明書では、もしお守りいただかないと工具の破損につながる恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されています。

- ③ご使用にあたってはこの取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく作業を行って下さい。

この取扱説明書に示されている操作方法及び安全に関する注意事項は、サービスチー用エルボクランプを指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

この取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合に、必要な安全に対する配慮はすべてご自分の責任とお考え下さい。

■各部の名称



■使用目的

①EFシステムにより、エルボ型継手・日立サービスチー（軸方向取出し）型継手とポリエチレンパイプを融着する際、対象材を固定するために用いる工具です。

■仕様

①使用対象材

対象継手：EFシステムに使用するEF継手のエルボ・日立サービスチー（軸方向取出し）

対象管：ガス用ポリエチレン管（JIS K6774）

②適用サイズ

| 品名 | 品番 | 対象継手 | |
|--------------------|-------|----------------------|----------|
| | | 品種 | サイズ(A) |
| サービスチー用 エルボクランプ | EE-50 | エルボ | 25・30・50 |
| | | 日立サービスチー (軸方向取出し) | 25・30・50 |

注：この商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■注意事項

▲注意

- ①この取扱説明書に表示された使用目的、仕様の範囲で使用してください。対象外の継手・管にご使用になると、融着不良や工具の故障原因となります。
- ②融着時および所定の冷却時間にクランプ各部及びクランプされている継手・管には絶対に触れないでください。外部から異なる力が加わりますと融着不良の原因となります。
冷却時間については*EFシステムのマニュアルをご参照ください。
- ③クランプ本体および締め付けノブに損傷がある状態では使用しないでください。クランプ力不足による融着不良の原因となります。
- ④クランプ本体のパイプ受け部・スプリング・締め付けネジ・ストッパーなどは常に清掃を行い、砂・ごみなどの異物がないきれいな状態で使用してください。異物が付着したまま使用しますと、正常なクランプ力が得られず融着不良の原因となります。
- ⑤融着前のスクレーブの方法、融着の良否の判定、融着不良の場合の処置などについては、*EFシステムのマニュアルをご参照ください。
*社団法人日本ガス協会などが発行しているもの。

■融着作業の前に

(1) 日常の点検・メンテナンス

①クランプ本体のパイプ受け部・スプリング・締め付けノブ・ストッパーなどに異物の付着がないかを点検し、異物が付着していればウエスなどで取り除いてください。

②点検の結果、各部の損傷や磨耗などが見つかった場合は、品名・サイズ・ロットNo.・異常のある箇所など明確にして、お買い求めの販売店または下記の連絡先まで至急ご連絡ください。

注：ストッパーは調整済みです。再調整しないでください。

■操作方法

(1) 操作手順

①継手を融着する部分のパイプおよびスピゴット部表面をスクレーブ（切削）してください。

注：スクレーブについてはEF作業マニュアルおよびスクレーバの取扱説明書に従って正しくスクレーブしてください。

②パイプおよびスピゴット部のスクレーブ面（切削面）と継手の接触面は清潔なペーパータオルにアセトンをたっぷり染み込ませて、蒸発しないうちに清潔な素手で拭いてください。

③パイプおよびスピゴット部のスクレーブした側を継手のストッパーに当たるまで確実に挿入してください。

④クランプは下記（2）項のクランプ方法によりクランプしてください。

⑤パイプおよびスピゴット部が継手に正しく挿入され、確実にクランプされていることを確認してから融着作業を開始します。

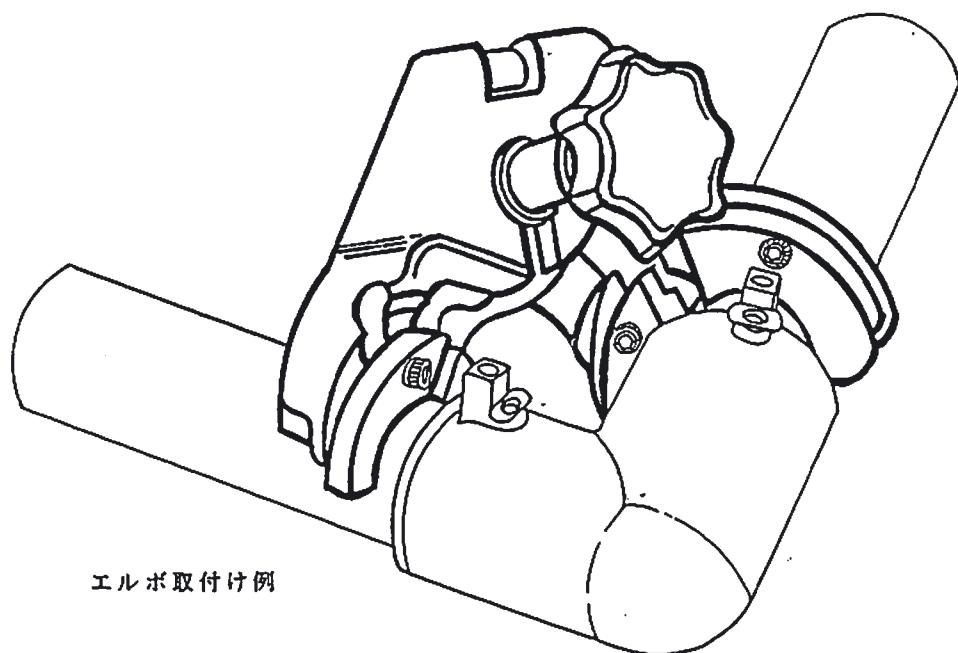
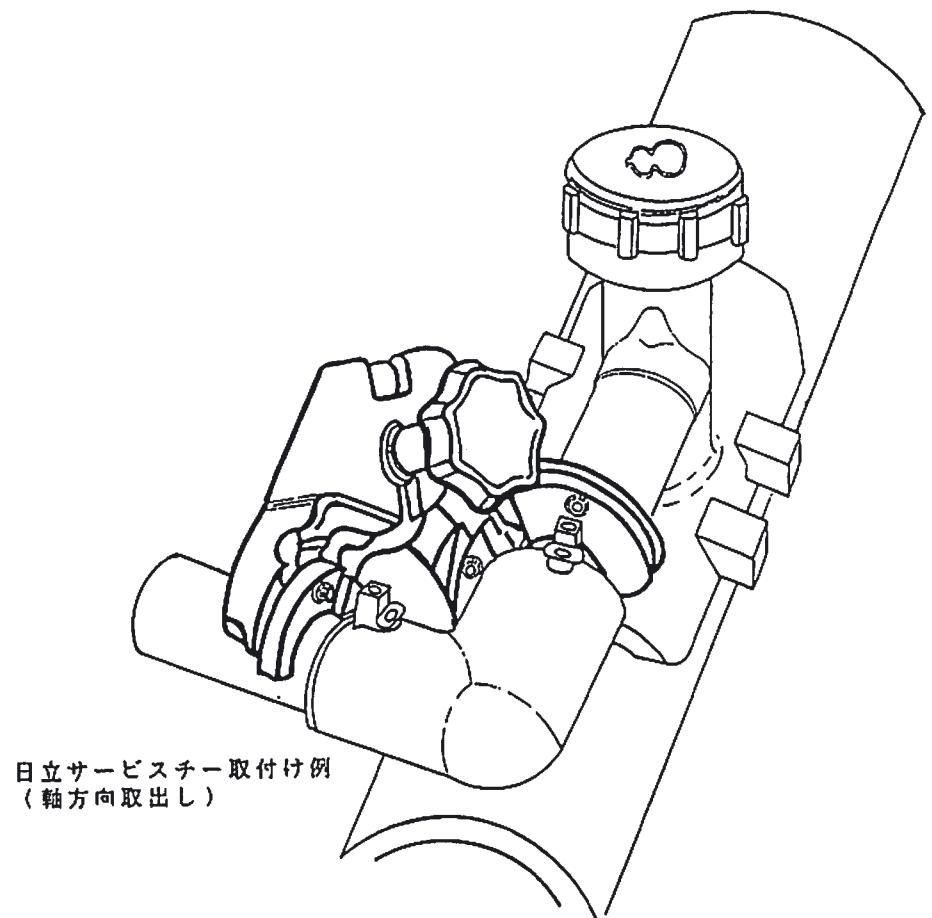
⑥融着終了後、所定の冷却時間が経過したらクランプを開放し、取り外してください。

注：冷却時間等、融着作業はEF作業マニュアルおよびコントローラー（融着機）の取扱説明書に従い正しく行ってください。

(2) クランプ方法

①クランプ本体のクランバー（パイプ受け部）締め付けノブを左（反時計方向）へ回してクランバーを開いてください。

②予め挿入接続してあるパイプおよびスピゴット部と継手にクランプ本体をはめこみ、締め付けノブを右（時計方向）へ回し、強く締め付けてクランプしてください。



株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
 (059)234-2454
<http://www.mccccorp.co.jp>